



令和8年度 さいたま市立土呂中学校 学校だより

見沼のほとり

第 2 号
令和8年4月30日

学校教育目標 主体的に生きる人間の育成 《意欲・健康・豊かな心》

風、薫る

校長 竹本 久子

入学・進級の4月から1ヶ月が経ち、風薫る5月が始まろうとしています。校庭の樹木も青々と目に鮮やかで、頬を伝う風もさわやかな気持ちのよい季節となりました。

5月1日はさいたま市民の日で市立学校はお休みとなります。さいたま市民の日は、令和3年のさいたま市誕生20周年を契機に、さいたま市が誕生した5月1日に制定されました。市の歴史や文化に親しみ、魅力ある市を将来にわたって創っていくことを期することが目的とされています。また、さいたま市PRキャラクター「つなが竜ヌウ」の誕生日でもあります。本校でも、給食でさいたま市民の日献立や生徒会朝礼でさいたま市を取り上げる内容が実施されます。5月3日・4日には学校近くの市民の森・見沼グリーンセンターで「花と緑の祭典2026」が開催されます。本校は駐車場として用地を貸し出したします。自然と多文化に触れ合うよい機会です。訪問して、さいたま市の魅力を体験するのもいいですね。

さて、現在、NHKの連続テレビ小説で「風、薫る」が放送されています。明治時代に実在した2人の女性をモデルに脚本が書かれていて、フィクションの要素も強いそうですが、2人の主人公それぞれが信念をもって、当時はあまり知られていない看護の道を歩む成長物語として描かれています。私は入学式式辞の中で、1年生に「将来の夢をもち、常に前向きに生活してほしい」と話しました。「メジャーリーグで活躍したい」「ドラマのように看護師となり人々の役に立ちたい」など、一人ひとりが中学校生活の中で自分の夢を持ち、その夢に向かって時にはつまずきながらも前向きに歩んでほしいと願うとともに、その夢の実現には毎日の小さな積み重ねが繋がっていることに気付いてほしいとも思います。メジャーリーグで活躍する夢には、睡眠や食事といった毎日の規則正しい生活が繋がっている、看護師で人々の命を救う夢には、毎日の授業を大切に受け取ることが繋がっている……。全ての生徒が今の自分の生活を大切に、目標に向かって毎日を丁寧に過ごしてほしいと願っています。

現在、1年生は部活動に本入部をし、2・3年生とともに活動を開始しました。運動部の生徒は、来る学校総合体育大会に向けて力いっぱい練習に励んでいます。文化部の生徒も全学年の部員が揃い、活気に満ち溢れて活動しています。5月の連休明けには中間テスト、下旬には体育祭も予定されています。風薫る5月、それぞれの行事に向けて目標を決め、力いっぱいもてる力を発揮してくれることを期待しています。4月の授業参観には、たくさんの保護者の皆様に学校の様子を御覧いただきました。5月も土呂中生を見ていただく機会も多くあります。ぜひ、土呂中生の実際の活動を御覧になり、応援くださいますようお願いいたします。